

東京・山梨地区会通信

第3号

東京・山梨地区会 令和5年度役員
会 長 北沢 敏男（国立国際医療研究センター病院）
事務局長 竹内 豊（NHO甲府病院）
理 事 御園生 圭太（NHO東京医療センター）
三平 果林（国立国際医療研究センター病院）
関口 和也（国立成育医療研究センター）
篠崎 翔平（NHO村山医療センター）
三上 大（NHO甲府病院）

会長挨拶

東京・山梨地区会会長
国立国際医療研究センター病院 中央検査部門
臨床検査技師長 北沢 敏男



東京山梨地区会の皆様こんにちは。新入職員の皆さんにおかれましては、慣れない環境を自分のものに始めてきた頃ではないでしょうか。

さて、令和5年度の東京・山梨地区会はあっという間に会期終盤となりました。昨年の総会で承認された事業方針に基づいて会務を進めてきたところです。去る5月18日には池袋でボウリング大会および懇親会を開催しました。40名近くの会員が参加し大いに交流を深めました。このような活動を通して会員同士の親交が深まることを祈っております。次年度以降の継続もさることながら、7月13日に控えた総会・研修会へも是非ご参加ください。

一方、北沢の不徳の致すところですが、前成育医療研究センター臨床検査技師長の澤部祥子先生ご定年にあたってのご挨拶の場を作れなかったことを、深くお詫び申し上げます。また会期途中で地区会外へ転動された方々にも大変失礼を致しました。将来に亘って東京・山梨地区会での思い出話ができるくらいの活動ができればと思います。

先ほども書きましたが、7月13日（土）に東京医療センターをお借りして、東京・山梨地区会総会および研修会を開催いたします。多数の会員の皆様にご出席をお願いします。特に、研修会は渾身の企画と自負しております。

「職場に心理的安全性を育てる勇気づけコミュニケーション」と題して、ヒューマンハピネス株式会社の上谷実礼先生にお願いしました。上谷先生は全国でご活躍の先生で、ミレイ先生としてXやインターネットに多数ご登場されています。また上谷先生をご紹介いただいた、国立病院機構東京医療センター臨床検査医の牛窪真理先生にもご協力いただく事としています。牛窪先生は東京医療センター臨床検査科での業務を通して臨床検査室で働く技師の相談相手としてもご活躍頂いております。研修会を通して、職場でのモヤモヤを解消できる何か一つをお持ち帰り頂けたらと思っております。

それでは総会・研修会でお会いしましょう！お待ちしております。

施設紹介



独立行政法人 東京医療センター
国立病院機構

<東京医療センターはどこにある？>

東京都の南西、目黒区の西高台に位置し、付近一帯は閑静な住宅地です。東京の中心地に位置しているにもかかわらず、病院西側には緑の木々に包まれた約42万平方メートルの広さを誇る都立駒沢オリンピック公園と隣接しており、緑あふれる立地となっております。

<どんな病院？>

1942年に旧海軍軍医学校附属第二病院、海軍第一療品廠及び財団法人海仁会病院として建設されましたが、その後終戦の1945年に国立東京第二病院、1998年に国立病院東京医療センターとして名称を変えています。地域医療支援病院、救命救急センター、東京都災害拠点病院などの指定を受けており、地域に密着した高度・急性期病院です。さらに、がん診療連携拠点病院として、特にがん診療に力を入れており、2020年には臨床腫瘍科を中心として関係する診療科を統合した「がん治療センター」が開設されました。がん診療の充実強化がはかられ、がん専門医を中心に関連各科が連携し、最先端の治療を行っています。また、がんの専門医だけではなく、すべての診療科に専門医を有する高度・急性期病院の特徴を生かし、心臓、腎臓、肝臓などの機能低下、精神・神経疾患、感染症など多様な併存疾患をもつがん患者や高齢者の治療にも対応しております。一方、救急医療としては、3次救急対応医療機関として、年間約7,000台の救急搬送を受け入れるなど、地域の救急医療の一端を担っております。緊急性と高い精度の医療提供が求められており、当検査室も日々、獅子奮迅の勢いで業務に取り組んでおります。



<臨床検査科について>

当検査科は、臨床検査科65名（検査技師47名、医師6名、看護師6名、受付/検体搬送6名）で業務に取り組んでいます。部門は検体検査室、生理検査室、血液管理室、微生物検査室、病理検査室、外来採血室に分かれています。検体検査室は2020年4月にプランチラボを解消し、自主運営を開始しました。それに伴い大型機器導入、検査技師の大幅増員が行われました。東京医療センターは診療科が多く、多種多様な症例に携わることができ、幅広く学ぶことができます。

<病院自慢>

東京医療センターの院内には、ソメイヨシノを代表とした約1,000本の樹木のほか、3万株以上に及ぶツツジなどの低木類により、花と緑が溢れる療養環境が確保されています。さらに病棟からは富士山やスカイツリー、東京タワーも見ることができ、その景観は患者さんからも高い評価をいただいています。他にもお昼にはキッチンカーが数台病院に出店されるため、お花見をしながらランチタイムを過ごすこともできますよ。

さらに、隣接している都立駒沢オリンピック公園では定期的に餃子フェスやラーメンフェスなど、様々なイベントが開催されており、仕事終わりに参加し職場の同僚たちと親睦を深めることができます。もしかしたら公園内で芸能人に会えるかも・・・



東京医療センターゆるキャラ
「とうにちゃん」



令和5年度東京・山梨地区会 レクリエーション・懇親会に参加して

令和6年5月18日（土）に開催された東京・山梨地区会のレクリエーション及び懇親会に参加してきました。

レクリエーションは参加者38名でのボウリングで、会場は池袋にある昭和の香り漂うレトロなボウリング場でした。各レーンのグループ分けは施設関係なく予めランダムで決まっており、初対面の方も多く始めはどことなく緊張や不安が感じられましたが、始球式で“漢”北沢地区会長が見事ストライクを決め、緊張や不安を吹き飛ばし和やかな雰囲気からボウリング開始となり、どんどん交流が深まり、楽しい時間を過ごすことができました。

各施設の平均スコアで順位を決める施設対抗戦の結果は、1位東京医療、2位成育医療、3位に甲府病院がランクインできました！（ほぼ遠藤技師長のスコアのおかげです！私の当日ベストは40点・・）

場所を移して「ミライザカ」で行われた懇親会は、施設間の隔たりなく到着順に着席し、北沢地区会長の挨拶・乾杯で始まりしました。私は東京・山梨地区会理事として、店前の路上にて会場案内をしていたこともあり、喉が渇き、冷えた1杯目のビールは最高に美味しかったです。

近年は、SARS-CoV-2による感染症対策として歓迎会や懇親会等が出来ず、交流する機会がほとんどない状態でした。私自身、コロナ渦に入職したので、今回の東京・山梨地区会で開かれたレクリエーションや懇親会等は初めての参加となりましたが、同じ関信グループの仲間の方々と好きなお酒を交えて交流できるのは楽しいことだと実感しました。この交流が、仕事関連の情報共有、異動した際の顔見知り等にも繋がっていくのかなともボンヤリとですが、感じる事が出来ました。最後になりますが、ご都合を見つけて参加してくださった方々に感謝申し上げます。ご都合付かず参加できなかった皆様、次回は是非一緒にレクリエーションを楽しみましょう。

NHO甲府病院 三上 大



令和5年度東京・山梨地区会レクリエーション ボウリング に3歳の息子と共に参加させていただきました。

育児のために時短勤務をしていることもあって、自部署以外の方との交流が少なく、コミュニケーションのきっかけになればと思い参加を希望しました。

会場に到着すると息子は想像以上の大人の数と初めての場所でとまどってしまい、やる気を失ったようでしたが同じレーンで投球をした子育て経験のある東京医療センターの田中副技師長や当センターの松尾副技師長の優しい心遣いにやる気が出たようで、いざゲーム開始。ゲームの中盤では一度だけストライクを取ることができて見事人生初のストライクをゲットし「また行きたいね♪」と楽しんだようでした。

当日は息子の世話などで目的の交流は思うようには果たせませんでしたでしたが後日息子の様子などを参加者の方と話すこともできて私にとっても充実した機会となりました。

最後に今回のレクリエーションを企画し子供の参加を受け入れて下さいました東京・山梨地区会役員の皆様、参加者の皆様へ心より感謝申し上げます。

国立国際医療研究センター病院 金原 沙枝子



Newcomer

Introduction No.1



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization Kofu National Hospital

甲府病院

National Hospital Organization Kofu National Hospital



甲府病院に臨床検査技師として採用されました、細野香帆です。

私の出身は長野県で、幼い頃から習っていたスキーが趣味です。最近ではスキー場で滑るだけでなく、景色を見ることも目的として長野県のスキー場によく行っています。

四月に入職してからは検体検査に携わっており、日々多くのことを学んでいます。まだ短い期間ではありますが、検体検査において正確な検査結果を出し、患者さんの身体状態を知る助けになるところにやりがいを感じています。検査結果を正確に出すためには、検体の管理だけでなく、検査機器の管理なども重要であることを学んでいます。学生時代は、検体の保存方法や採取の仕方など、検体の扱い方について主に学んでいました。機器の管理は、私にとってまだ難しい部分ではありますが、先輩方の助言や経験を聞きながら日々勉強してします。これから臨床検査技師として様々な経験を積んで、一人前の臨床検査技師となるよう日々努力していきたいと思います。



研究検査科
臨床検査技師
細野 香帆

甲府病院の中村麻友美と申します。令和4年5月より出産育児のため約2年間の長期休業をいただいておりますが令和6年4月より復帰させて頂きました。この度は第2子の出産のため皆様にご迷惑をかけ、配慮を賜りながら出産と育児に臨む事が出来ました。第1子の出産時には出産直後に「もうそろそろ生まれた〜？」と電話を頂き、里帰り出産先の病院カルテを見ているのか！？と驚いたことは良い思い出です。今回の出産時は「サーベイの問題が公開されたよ〜」と連絡を頂いてから陣痛が来たことで今後サーベイの時期には陣痛を思い出すことになるのだと覚悟しております。

育児休業中には新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行される等の病院を取り巻く環境が変化中、育児と家事に専念する生活に社会から遅れているような焦りと不安もありました。上の子の赤ちゃん返りと新生児の授乳・おむつ交換・夜泣きで毎日があっという間に過ぎ、記憶が乏しい期間もありますがこども達は元気に育っております。

今後は育児時間制度を利用し、1時間早く退勤させていただきます。また、こどもの体調不良や学校行事等でご迷惑をおかけするかもしれませんが1日でも早く戦力になれるよう精進して参りますのでこれからもご指導の程よろしくお願い致します。重ねて、皆様の温かいお心遣いとお配慮のおかげで職場復帰を果たすことが出来ましたこと、心よりお礼を申し上げます。



研究検査科
臨床検査技師
中村 麻友美

Newcomer

Introduction No.2



独立行政法人国立病院機構
東京医療センター



東京・山梨地区会の皆さま、はじめまして。4月1日付で宇都宮病院から東京医療センターへ副臨床検査技師長として昇任で異動いたしました、宮木聡恵と申します。よろしくお願いいたします。

研修会や主任試験で訪れていた際は、自身がこちらの施設でお世話になることは想像もつきませんでした。いざ勤めてみると、緑多い穏やかな環境にみえる反面、三次救急を受け入れていることもあり、緊急性や精度の高い検査結果を求められ、非常にレベルの高い検査技術を問われる現場だと感じました。少しでも早く、必死に頑張っているスタッフの力になれるよう、精進していきたいと考えています。

仕事以外ですと旅行が好きでしたが、コロナ禍以降なかなか難しくなりキャンプに行く機会が多くなりました。最近はまだ、旅行に行きたいと考えています。しかし、こちらで知り合った方々とも機会が合えばキャンプに行きたいと思っていますので、もしよろしければお声掛け下さい。



臨床検査科
副臨床検査技師長 宮木 聡恵

4月1日付けで災害医療センターより配置換えで参りました原田 邦彦と申します。

国立病院機構に入ってから高崎、災害、東京医療と3施設目になります。

東京山梨地区会に所属するのは初めてとなりますので今後ともよろしくお願いいたします。

家は群馬県の高崎にあり、毎日片道2時間かけて新幹線通勤をしています。災害医療センターの時から新幹線通勤をしていましたが、東京医療センターへは渋谷で乗り換えるため、毎日満員電車で潰されながら通勤しています。担当は病理検査です。

東京医療センターはISO施設であり、検体数も多く、1日があっという間に終わってしまう毎日を過ごしております。たくさん症例やISOについて勉強し、自身の経験値をもっともっと積んで行きたいと思っています。最後になりますが、東京山梨地区会の一員として勉強会や研修会に積極的に参加いたしますので皆様どうぞよろしくお願いいたします。



臨床検査科
主任臨床検査技師 原田 邦彦



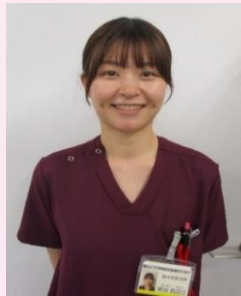
はじめまして。群馬県渋川医療センターから異動してまいりました、4年目の東田真苗江です。

出身は神奈川県です。3年間群馬県でのんびりと車生活をしていたので、首都圏の満員電車と人混みになれない日々です。

これといった趣味はないのですが、強いて言うなら、競馬です。そろそろ三連単を当てたいです。また、今年こそは競馬場に行きたいです。

東京医療センターは3次救急・ISO取得など、以前の施設とは異なる部分がたくさんあり、毎日が新鮮です。また、施設のカラーの違いも感じ取れて面白いです。

異動してきたばかりで、新人のフレッシュな気持ちで毎日過ごしています。1日でも早く東京医療センターに馴染むことが出来たらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床検査科
臨床検査技師 東田 真苗江

東京・山梨地区会会員の皆様、初めまして。令和6年4月1日付けで東京医療センターに配属になりました原正敏（はらまさとし）と申します。

東京医療センターで3施設目の勤務地となります。前施設までの病院では検体検査（生化学・免疫検査、血液検査、一般検査、輸血検査）、病理検査、採血業務に携わってきました。現在は、生化学・免疫検査及び採血業務に携わっています。

ISO15189を取得された3次救急指定病院で勤務するのは初めてで、不安な感情で一杯です。毎日精一杯取り組んで、検査科一員として馴染んでいければと思っています。

また東京・山梨地区会会員の皆様、地区会や研修会等でお会いした際は、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。



臨床検査科
臨床検査技師 原 正敏

4月1日より、東京医療センターに異動してきました宮浦晟と申します。現在は、血液・一般検査室に配属しています。以前は、千葉県柏市にある、国立がん研究センター東病院（独自採用枠）に7年程所属していました。入職当初は、治験業務をメインにやっており、なかなか臨床検査業務ができない立場であり悩んでいる時期がありました。（このままでいいのだろうかとか何度も退職しようと思ったものです、、、）しかし、約3年前から検体検査室に配属となり検査業務を行う中、がん領域だけではなく総合病院のようないろいろな症例の患者様が来られる病院で勉強してみたい気持ちが強くなり、昨年NHOの採用試験を受験する決断をいたしました。無事採用され肩をなで下ろしましたが、まさかの3次救急病院に採用されてしまい、不安な気持ちでいっぱいです。勉強の毎日で大変ではありますが、やりがいを感じながら刺激的な毎日を過ごしています。まだまだわからない事が多く未熟者ですが、一生懸命頑張らせていただきます！！

重度のコミュニケーション障害と重度の暑がりを合併しており、ほとんど家からでない引きこもりな僕ですが、研修会等どこかで会うことがございましたらその際はよろしくお願いいたします。



臨床検査科
臨床検査技師
宮浦 晟





独立行政法人国立病院機構 東京医療センター

東京・山梨地区会の皆さま、初めまして。令和6年4月1日より、宇都宮病院から配置換で東京医療センターへやって参りました遠藤みずきと申します。出身は東京都で、今回の移動は地元に戻ってきた形になります。東埼玉病院で技師として最初の1年を非常勤として過ごし、翌年度、宇都宮病院にて正職員として採用されました。宇都宮病院では3年間お世話になり、1年は検体検査を、2年は生理機能検査を担当させて頂きました。現在は検体受付業務から東京医療センターの業務に携わせて頂いております。東京医療センターのような三次救急を扱う病院での勤務は初めての事となります。また大きな規模の病院であること、ISO取得施設であることなど、初めてだらけの状況に不安と期待で胸が交錯しております。一日も早く当施設での仕事を覚え、人としても馴染み、皆さんと楽しく働けるようにしたいと思っております。今後ともどうぞ、よろしくお願い致します。



臨床検査科
臨床検査技師 遠藤 みずき

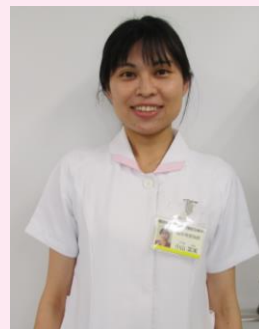


はじめまして、令和5年7月より東京医療センターにてお世話になっております。沼田章宏と申します。東京医療センターで非常勤職員として微生物検査と病理検査に携わりもうすぐ一年が経過しますが、まだまだ社会経験の未熟や勉強不足を痛感する日々です。昨年度に臨床検査技師となり、初めて病院に勤務するため、多くの不安や業務の忙しさに毎日奮闘しております。分からないことが多く、先輩技師から日々指導していただき、様々なことを学んでおります。最近では採血業務に携わるようになり、患者様への接遇に力を入れて精進しております。今後は医療従事者としての責任感をより意識して業務に励むと共に、勉強会に参加し、知識と技術を身に付けていきたいと思っています。未熟なことが多いですが、多くの経験を積み病院に貢献できるように精進していきますのでご指導のほどよろしくお願い致します。



臨床検査科
臨床検査技師 沼田 章宏

東京・山梨地区会の皆様、今年1月より東京医療センターに入職しました小山菜実と申します。走ることが好きでマラソンや登山を趣味にしております。検査技師歴は10年で、前施設では主に生理検査を担当しておりました。東京医療センターで初めての検体検査配属となり、諸先輩から指導を頂きながら、一日も早く一人前になるよう尽力しております。この度、ISO取得施設ならびに三次救急指定病院という大きな施設の配属になり、新たな学びや経験が多く、毎日が新鮮な気持ちでいっぱいです。患者様のお力になれるよう沢山の知識と経験を積み、更にはその培ってきた経験を元に、後進の育成に努めたいと思います。至らぬ点が多々ございますが、東京医療センターならびに東京・山梨地区会の一員として幅広い活動ができるよう日々精進してまいります。地区会の研修会やレクリエーションでお会いした際には、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



臨床検査科
臨床検査技師 小山 菜実

Newcomer

Introduction No.3



4月1日付で霞ヶ浦医療センターより配置換となりました、臨床検査技師長の前島基志です。よろしくお願いいたします。

東京・山梨地区会に所属するのは、2回目となります。所属1回目は、東京・山梨地区会立ち上げ時、当時は国際医療研究センター病院に勤務しておりました。あれから4回の異動及び出向を経て、再び戻って参りました。戻るといえば、現在勤務します成育医療研究センターも2回目となります。2回目と聞くと慣れ親しんだ様に聞こえるかもしれませんが、12年振りに戻った成育医療センターは、ISO 15189認定取得によって構築されたQMSのもとに管理運営されており、当時より臨床検査部として一回りも二回りも大きく進化していることを実感しております。私自身もこの進化に取り残されぬよう、今はまだ日々の業務に追われて、副技師長や周りのスタッフに助けられながら過ごしております。東京・山梨地区会2回目の所属と申しましたが、私の出身は長野県です。そして、現在の住まいは千葉県、実家を離れてから30年以上、長野、千葉、東京、茨城県の施設を経験し、なかなか実家方面には戻れぬ状況が続いております。通勤時間については、前施設は茨城県で現在は東京都と、最近では何れも2時間超となっておりますが、その通勤時間を読書やスマホで楽しみながら、そして時々寄り道もしながら、現在も千葉から東京都心を横断する日々を送っております。今後は、地区会でも対面の機会が増えるのではと思っております。地区会でお会いしましたら、気軽に声をかけていただけたらと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



臨床検査部
臨床検査技師長 前島 基志



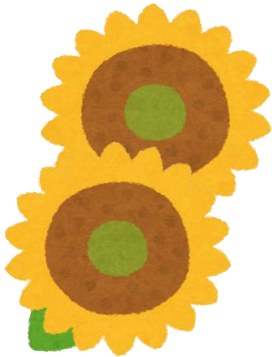
4月1日付けで国立国際医療研究センター病院から国立成育医療研究センターに昇任で異動しました田中裕規と申します。前院では生理検査を行っていました。当院では採血室主任を拝命しました。

大都会新宿にある急性期病院から、閑静な住宅街の広がるアッパータウンに引っ越し、母子・小児医療専門病院、初めての主任、乳幼児の採血…と、対応する患者層も業務内容も立場もガラリと変化しました。当院の採血室は大人の患者様を対象とした採血室とは違い、患者様・ご家族への接し方、細い血管へ穿刺する技術、介助要領など…小児病院でしか経験できない専門的なスキルが多く、学ばなければならないことが多々あります。しかし、最も重要なことは、健康に生まれ元気な成長を期待するところ、医療を必要とする患児とご家族に対し、寄り添い、共に在るのだという気持ちを持つことだと思います。今後も微力ではありますが、患者様とご家族に遣える気持ちを忘れず業務に当たりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



臨床検査部

主任臨床検査技師 田中 裕規



お世話になっております。今年度より成育医療研究センターに配属となりました、城所さつきと申します。

昨年度まで甲府病院に所属しておりましたので、引き続き東京・山梨地区会の一員として働けることを嬉しく思います。甲府病院には3年間勤め、検体検査と微生物検査に携わっておりました。新卒採用後初めての職場であったため、技師としての知識・技術だけでなく、他職種との関わり方や社会人としての立ち振る舞いなど多くのことを学ばせていただきました。心残りには、ほうとうを食べ忘れたことです。成育医療研究センターでは微生物検査の担当となりました。同じ検査でも扱う検体や検出菌が変わることで、自身の至らない点を痛感しておりますが、日々学びながら業務に励みたいと思います。新型コロナウイルス感染症が収束し、当院ではマスク着用のルールが緩和されました。肝臓に優しい女性を目指しつつ皆様と交流を深められたら幸いです。よろしくお願いいたします。



臨床検査部

臨床検査技師 城所 さつき

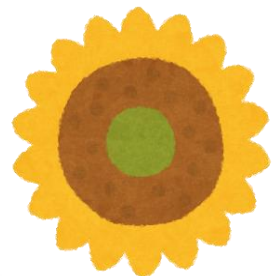
令和6年4月1日付で国立成育医療研究センターに臨床検査技師として入職しました木村春穂です。

私の経歴としましては文系大学を卒業後、専門学校の臨床検査学科に入学しました。専門学校に入学した際に感じた未知の世界へ足を踏み入れる緊張感を3年ぶりに感じています。元々打たれ強さに自信がある私ですが学生時代よりも自分の行動一つ一つに責任が伴ってくるため正直な所不安の方が大きいです。しかし、全くの文系だった私が理系の専門学校に入学し臨床検査技師の国家試験に合格できたことは自分の中での自信となっており、臨床検査技師となった自分への期待にも繋がっております。生理検査室に配属され、初めての事だらけで戸惑う事も多いですが、先輩達の丁寧な指導のおかげで色々な事を学びながら楽しく勤務ができています。最後になりますが、多くの事を経験し、吸収し一日でも早く先輩方、患者様の力になれるよう日々頑張ります。よろしくお願いいたします。



臨床検査部

臨床検査技師 木村 春穂



Newcomer

Introduction No.4



国立研究開発法人

国立国際医療研究センター

NCGM National Center for Global Health and Medicine

国立国際医療研究センター国府台病院から国立国際医療研究センター病院へ異動いたしました市川遼と申します。技師歴2度目の1月1日付異動です。そして初の東京・山梨地区会の一員としてお世話になります。

以前在籍していた施設では主に輸血検査を担当しておりました。そして当施設でも輸血検査を担当させていただいております。いや、もう右往左往の毎日です。ISO 15189取得施設での勤務はこれほどかと・・・前任かつ私の師匠でもある白鳥主任の軌跡をたどりつつ、私なりの検査室構築を模索中です。不慣れなことが多く周囲にご迷惑をおかけするばかりですが、明るく元気なスタッフの方々の支えもあり、ほんの少し慣れてまいりました次第です。

趣味は食べることです。コロナ禍での外食禁止令も緩和された今日、新たな地区会での活動に期待いっぱいです。ただ、食べたら食べただけ体に出てくるお年頃。ラクに楽しくできるトレーニングについてぜひご教示いただけますと幸いです。

今後とも何卒よろしく願いいたします。



中央検査部門
主任臨床検査技師 市川 遼



東京医療センターから転勤して参りました池田美穂子と申します。

前施設は目黒区にありましたが、新施設は新宿区とより都内に近くなり高いビルがとても目立ち、日々圧倒されながら通勤しています。配属は治験管理室で治験関連の検体処理等が主な業務になります。前施設でも短い間でしたが治験業務に携わる機会があり、縁あって新施設でも治験業務に携わる機会に恵まれました。治験管理室は15階にあり、窓から新宿のビル群が目に見え込んできます。

配属してひと月たち、通勤や毎日のエレベーター利用にやっと慣れてきました。

過去、新人の頃にお世話になった方や元実習生だった方にお久ぶりに再会することができてとても懐かしく思います。

一日も早く業務に慣れるように日々精進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 池田 美穂子





国立研究開発法人

国立国際医療研究センター

NCGM National Center for Global Health and Medicine

はじめまして、角柚衣香と申します。4月より国立国際医療研究センター病院（NCGM）中央検査部門生理機能検査業務に従事しております。

去年の4月から5か月間この施設での臨時実習をさせていただき、患者様の健康を守るための正確かつ迅速な検査結果を提供する姿を見て、当院に入職したいと思いました。右も左も分からず不安な毎日ですが、皆さまからの熱い指導の下、日々頑張っております。現在は主に心電図・呼吸・血圧脈波また当直業務の研修を主に行っています。患者様を部屋に入れるところから検査の説明、電極の装着、結果の確認などを行っています。

仕事に自信を持つことが出来るよう、積極的に講習会などに参加し、日々成長し続けたいと思います。入職してからまだ1ヶ月程で自分が出来る仕事に限られていますが、多くのことを経験し技術を磨き1日でも早く仕事を覚えて、検査室の力になれるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 角 柚衣香



令和6年4月1日より国立国際医療研究センター病院中央検査部門の生理検査業務に従事している佐藤知世と申します。

令和5年の5月から7月までの3か月間当院で実習させていただきました。高度な医療が提供できる環境と目標を持ち検査業務に取り組む技師さんの姿を受けて当院で入職したいと思いました。

現在は心電図検査・呼吸機能検査・血圧脈波・ABRなどの検査と6月からの当直業務に向けての研修に日々励んでおります。生理検査室の業務では直に患者さんとのコミュニケーションをとりながら検査するため、毎日が新しい経験ばかりです。検査後の患者さんたちからの「ありがとう」などの一言一言が大きな活力になっています。

まだまだ未熟な点が多いですが、しっかり勉学に励み、多くの知識と経験を積んでいきたいと思ひます。一日でも早く検査室の力になれるよう笑顔を保ち日々精進してまいりますので、これからもご指導どうぞよろしくお願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 佐藤 知世

はじめまして。今年度の4月1日から国立国際医療研究センター病院の微生物検査室に勤務しております、堀内春伽と申します。

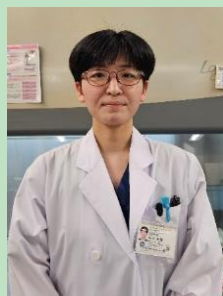
学生の頃から微生物検査に興味があり、感染症の勉強をするうえで恵まれた環境で働くことができるのを嬉しく思います。

入職してから1か月以上経ちましたが、業務を覚えてこなすことに精一杯日々です。まだまだこれから覚える業務がたくさんありますので、出来ることを1つずつ増やしていき、早く病院に貢献できる人員となれるよう精進してまいりたいと思います。

インドア派なので休日は基本的に家でのおんびりしていますが、時々友人と遊んだり、近所のショッピングモールでゆっくり買い物したりして楽しんでいます。また、おいしいものが好きなので、退勤後に駅周辺の飲食店にも入ってみようかと考えています。

まだまだ未熟で至らない点もあるかもしれませんが、日々少しずつ経験を積み、技師として成長していけるよう努力してまいります。

今後ともご指導よろしく
お願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 堀内 春伽



国立研究開発法人

国立国際医療研究センター

NCGM National Center for Global Health and Medicine

昨年の8月より国立国際医療研究センター病院中央検査部門でお世話になっております、両満 菜月と申します。
入職後は採血室に所属していました。以前から採血の経験が無かったので不安に思うことが多かったのですが、主任や先輩技師からご指導していただき採血技術の向上に努めていました。学生時代から臨床の現場に関わりたと思っていましたので、実際に患者さんと接することのできる貴重な経験をさせていただきました。4月からは一般・血液検査部門に所属しております。1日でも早く一通りの業務がスムーズに行えるよう経験を積んでいきたいと思っています。休日は映画やドラマを見たり、友達とお話したりとリラックスして過ごすことが多いです。体を動かすのも好きなので色々なスポーツに挑戦してみたいと思っています。経験、知識共にまだまだ未熟ではありますが日々努力していきたいと思いますので、何卒よろしく願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 両満 菜月

はじめまして。宇賀神 拓斗と申します。

令和6年5月1日より国立国際医療研究センター病院中央検査部門 検体検査室に所属しております。1年目の臨床検査技師で、入職から未だ2週間程度ですが、基幹業務に携わらせていただいております。大学時代に勉強したことが活かせることもあります。まだまだ勉強しなければならないことばかりだと実感しております。現在は、1人の技師としていち早く戦力になりたいという思いが強く、課題である採血のトレーニングに日々励んでおります。上達のコツなどあれば、ご教授いただけますと幸いです。趣味は音楽鑑賞・ダンスです。ストレス発散のために好きな音楽を聴き、体力向上のためにダンスをしています。日常生活と仕事とのバランスをうまくとりながら、さらに精進していきます。至らぬ点も多くあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく願いいたします。また、皆様方と何かご一緒する機会がございましたら、その際はよろしく願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 宇賀神 拓斗

はじめまして。

令和6年4月1日より国立国際医療研究センター病院中央検査部門でお世話になっております、原田 竜也と申します。
今回、初めての配属で大きな施設で仕事をすることになり、不安に感じることは多いですが、その分やりがいを感じています。今は検体検査室で主に生化学を担当しており、毎日たくさんのことを学ばせていただいています。特に精度管理の重要性と大変さを痛感しております。休日は出かけることが多く、服やアクセサリを見に行くことが多いです。自分が欲しい服を買うために、仕事にさらに一生懸命頑張れます。また毎年冬になると、ウインタースポーツをやることも多いです。先日自分のスノーボードを購入したので、これからも冬の楽しみとして満喫していきたいです。配属されてから1ヶ月が経ち、少しずつ慣れてはきましたが、まだまだ力不足で至らない点も多々あります。皆様のお役に立てるように励み、この病院で働いていることから大きな経験を得て、立派な検査技師になれるよう頑張ります。何卒よろしく願いいたします。



中央検査部門
臨床検査技師 原田 竜也



Newcomer

Introduction No.5



4月1日付で東京病院より村山医療センター臨床検査技師長へ昇任で着任いたしました阪旨子です。東京病院は東京地区会、村山医療センターは東京・山梨地区会となり、近所でありながら地区会が異なり初めての所属となります。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の転勤で7施設目となり、事務、看護、薬剤、放射線、栄養に顔見知りがいるという心強い状況と、検査科の優しいスタッフに支えられ仕事ができるという幸せな環境で勤務しています。

村山医療センターは近隣に西武ドーム（ベルーナドーム）、トトロの舞台となった多摩湖、狭山湖の森が広がり、自然豊かなところです。多摩湖周辺にはサイクリングロードが充実しており、週末はサイクリングを楽しんでいます。通勤で西武ドームの前を通るので、いつか仕事帰りに西武ライオンズの応援で寄りたいと思っています。

最後になりますが、地区会の皆様のご健康とご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。



臨床検査科
臨床検査技師長 阪 旨子





この度、4月1日付でNHO村山医療センターに赴任いたしました中村良幸です。どうぞよろしくお願いいたします。前任地のNHO西新潟中央病院赴任時は、COVID-19の拡大と時期が重なり、地区会でも対面式での活動を自粛しており、寂しい思い出となりました。今年度からは、対面式での活動も再開され始め総会や懇親会等で、東京・山梨地区会の皆様とお会いできる機会が増えることを期待しています。着任後は、慣れない業務に苦労しながらも周りのスタッフに支えられながらがんばっております。また、長時間通勤、4路線に跨るため、定期券も2枚持つことになりました。相鉄線、東急目黒線、JR南武線、多摩モノレールの各路線では、住民層が異なるためか、乗客の雰囲気も違うように感じます。通勤中は、車内で人間観察をしながら過ごす毎日です。最後になりますが、東京・山梨地区会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、異動の挨拶とさせていただきます。

臨床検査科
副臨床検査技師長
中村 良幸



はじめまして。4月1日より埼玉病院から村山医療センターに昇任で参りました、高橋美智子と申します。東京・山梨地区会にお世話になるのは初めてとなりますので、よろしくお願いいたします。埼玉病院では細菌検査を担当していましたが、現在は細菌検査に加え、検体検査も担当しています。検体検査の経験はありますが、5年以上携わっていなかったもので、知識を思い出しながら、日々奮闘しております。今まで勤務してきた病院とは規模や専門性が異なり、戸惑うことも多いですが、1日も早く慣れて貢献していきたいと思っております。休日は主に、子供のミニバスの練習や試合観戦をしています。試合になると応援に熱が入り、とても疲れますが、一生懸命にプレーしている姿を見ると、こちらも元気づけられます。また、書道も長年続けており、師範を目指し、細々ですが、時間をみつけて練習しております。まだまだ未熟な私ですが、日々コツコツと努力し、頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

臨床検査科
主任臨床検査技師
高橋 美智子



編集後記

暑い日が続いておりますが、東京・山梨地区会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。コロナ感染症が収束してから初めてのレクリエーションを開催しコロナ禍以前と変わらない交流が行えました。

当初、レクリエーションに山梨観光（ワイナリーめぐり、フルーツ狩り）を考えていましたが、事前のアンケートの結果で希望者があまりにも少なかったため断念！希望の多かったボウリングに決まりました。山梨県もなかなか良いところですよ！プライベートで観光に来てください！

地区会通信に投稿して頂いた皆様に感謝申し上げるとともに会員の皆様の健康とご多幸を願っております。

東京・山梨地区会事務局長
NHO甲府病院 研究検査科 副臨床検査技師長 竹内 豊

